

子どもの 目線に立つ

学力向上に向けた授業改善のために

■岐阜県学力向上フォーラムより

■全国学力・学習状況調査から見られる指導改善のポイント

■質問紙調査結果から見られる指導改善のポイント



平成25年11月 岐阜県教育委員会

中学校用

「分かった」「できた」 という手ごたえを 子どもたちの自信に！

—わずか半年間のつたない実践ですが、再確認できたことは、授業で活躍の場があり、「できるようになった」「分かった」という確かな手ごたえや満足感が、「やればできる」という自己肯定感や自信につながるということです。

そしてこのことが、新たな意欲や心の穏やかさ、学校全体の落ち着きにもつながるということです。

学力向上への道は、厳しいことを実感した半年間でもありました。すべての子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させることは容易ではありません。

しかし、例えわずかな伸びであっても、子どもの成長を喜び合いながら、また、自ら学ぼうとする素直で前向きな子を育てることを目指して、これからも力を合わせて研究実践を重ねていきたいと思います—

地区学力向上協議会
会場校 校長先生の挨拶より

小・中学校のみならず、高等学校、特別支援学校の先生方も一堂に会して、まさに校種や学校、行政問わず、全県的に岐阜県の子どもたちの学力向上に向けた取組について探りました。

岐阜県 学力向上 フォーラム

開催日時／平成25年8月23日
開催場所／羽島市文化センター
参加人数／教職員等約780人
スカイホール他

全体会挨拶 松川禮子教育長

—学力が低いということ、それは、それだけの問題ではなく、その子の潜在能力を引き出すことが終わってしまふことである。学習が成り立たないという時間を過ごしたことによって、個人の尊厳が損なわれ、その子の人生に大きな影響を与える。学校全体で、教職員が一丸となって、すべての子どもに確かな学力を育み、義務教育を修了させるという強い気構えをもつてほしい。義務教育段階の学習は、その後の学びのすべての基礎となる学びである。

分科会

各分科会のテーマに基づいた実践を行っている学校の提案を踏まえて、各分科会の参加者が、児童生徒に確かな学力を身に付ける取組について協議し、指導改善のポイントをまとめました。

第1分科会 基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させる教科指導

中津川市立南小学校

- 個々の児童の学習状況の把握
- 単位時間の役割を明確にした指導計画の工夫改善
- 学習過程等の違いを明確にした習熟度別少人数指導

「実態把握 → 実態に基づく指導 → 検証 → 指導改善」といった指導改善サイクルの確立

郡上市立八幡中学校

- 知識・技能を定着させる手立て
- 習得した知識・技能が繰り返し活用されていることを自覚させる指導

第2分科会 ユニバーサルデザインの視点を生かした教科指導

神戸町立北小学校

- 14の視点に基づいた「できた」「分かった」という喜びや達成感のある授業づくり
- 14の視点に基づいた環境づくり

「教師の困り感」から「児童生徒の困り感」どの児童生徒にも分かりやすく児童生徒の「学び方」や「物事の捉え方」等の特性に目を向けた指導

白川町立白川中学校

- 聴覚言語系・視覚系・運動感覚系の3つの視点による支援の工夫
- 「分かった」を見届ける形成的評価
- 「できた」を見届ける総括的評価



第3分科会 小学校からの教科専門性向上や小中連携を図った教科指導

海津市立高須小学校

- 学校独自の教科担任制の基本形態
- 教科担任制の運用の工夫

発達の段階に応じた指導体制や指導方法の工夫
少人数指導や教科担任制等より専門的で深い学びが得られる指導
多くの教員による多面的な指導

高山市立宮小学校・高山市立宮中学校

- 小中兼務教員を活用した指導
- 小中9年間を見通した指導
- 少人数指導とTTを併用した指導体制



第4分科会 中高連携を図った学力向上

飛騨市神岡町連携型中高一貫教育コーディネーター会議

- 授業参観による指導方法や生徒の実態等の相互理解
- 「Step by Step」による学力向上
- 高校教員による中学校での訪問面接

岐阜県立羽島高等学校

- 学校設定科目「ステップアップ学び」の開設
- 高等学校と地元小・中学校との人事交流
- 羽島市内5中学校の教諭との意見交流、授業参観

生徒にとっての円滑な接続
指導内容の系統性・指導方法の継続性・指導目標の一貫性



第5分科会 地域ぐるみの学力向上に向けた取組

羽島市教育委員会

- 羽島市ホープ教員育成プロジェクト
- イブニング研修や学力アクション会議
- 羽島市独自の学習状況調査の実施

七宗町教育委員会

- 七宗町内4小・中学校共通実践の推進
- プロジェクト委員会の編制
- 教育委員会による事前研究会からの参加



戦略的な教育施策
教師が主体的に指導力を向上するための取組
学校の士気を高め、教師のやる気を引き出す指導



第3分科会で提案する
海津市立高須小学校の代表

参加者の声

早速学校に戻り、全国学力学習状況調査の結果を改めて分析した。そして、結果の分析を踏まえて、学校として目的・計画的に指導すること、全職員で確認した。ある特定の教員の取組で終わらせないことが、学校全体の児童の学力を向上させるために必要であることを学んだ。
(関市立A小学校教諭)

個人の尊厳を高める指導と個人の尊厳が損なわれていく指導。自分ではどちらの指導をしているのか。いずれにせよ、その視点に立つた指導をしていなかったということ。これは後者の指導をしていたと気付いた。
(岐阜市立B中学校教諭)